



コール ピックアップ グループ

コール ピックアップ機能を使用すると、自分の電話番号以外の番号に着信したコールに応答できます。この機能については、[P.11-2](#)の「[コール ピックアップ グループの概要](#)」で説明します。

ここでは、次のトピックについて説明します。

- [コール ピックアップ グループの概要 \(P.11-2\)](#)
- [コール ピックアップ グループのシステム要件 \(P.11-5\)](#)
- [インタラクションおよび制限事項 \(P.11-5\)](#)
- [コール ピックアップ グループのインストールとアクティブ化 \(P.11-8\)](#)
- [コール ピックアップ グループの設定 \(P.11-8\)](#)
- [関連項目 \(P.11-20\)](#)

コール ピックアップ グループの概要

Cisco Unified IP Phone (SCCP および SIP 用) では、コール ピックアップ、グループ コール ピックアップ、および他グループ コール ピックアップという 3 つのタイプのコール ピックアップをサポートしています。

- **コール ピックアップ**: ユーザは、本人が所属するグループ内の着信コールを受けることができます。Cisco Unified Communications Manager は、ユーザが Cisco Unified IP Phone からこの機能をアクティブにしたときに、適切なコール ピックアップ グループ番号を自動的にダイヤルします。このタイプのコール ピックアップには、[ピック] ソフトキーを使用します。
- **グループ コール ピックアップ**: ユーザは、別のグループ内の着信コールを受けることができます。ユーザは、Cisco Unified IP Phone からこの機能をアクティブにするときに、適切なコール ピックアップ グループ番号をダイヤルする必要があります。このタイプのコール ピックアップには、[G ピック] ソフトキーを使用します。



(注) コール ピックアップ機能とグループ コール ピックアップ機能の設定手順は同じです。グループ コール ピックアップ番号は、回線または電話番号に適用されます。

- **他グループ コール ピックアップ**: ユーザは、本人が所属するグループに関連付けられたグループ内の、着信コールを受けることができます。Cisco Unified Communications Manager は、ユーザが Cisco Unified IP Phone からこの機能をアクティブにしたときに、関連付けられたグループ内の着信コールを自動的に検索して、コール接続を確立します。このタイプのコール ピックアップには、[他 Grp] ソフトキーを使用します。

関連付けられたグループが複数存在する場合、関連付けられたグループへのコールに応答する際の優先順位は、関連付けられた最初のグループから最後のグループまでの順になります。たとえば、グループ A、B、および C がグループ X に関連付けられており、コールに応答する際の優先順位がグループ A、B、および C の順になっているとします。グループ A の着信コールよりも前にグループ C にコールが着信している可能性があります、グループ X は最初にグループ A の着信コールを受けます。



(注) 通常、同じグループ内で複数の着信コールが発生した場合は、呼び出し音が最も長く鳴っている (呼び出し時間が最も長い) コールが最初に応答されます。他グループ コール ピックアップの場合、関連付けられたピックアップグループが複数設定されているときは、呼び出し時間よりも優先順位が優先されます。

アイドルおよびオフフックのコール状態では、[ピック]、[G ピック]、および [他 Grp] の 3 つのソフトキーが使用可能になります。管理者は、ユーザがコール ピックアップ機能を呼び出せるよう、これらのソフトキーを標準ソフトキー テンプレートに追加する必要があります。P.11-8 の「[コール ピックアップ グループの設定チェックリスト](#)」および P.11-10 の「[他グループ コール ピックアップの設定チェックリスト](#)」を参照してください。

自動コール ピックアップ

Auto Call Pickup Enabled サービス パラメータを有効にすると、コール ピックアップ、グループ ピックアップ、および他グループ ピックアップを自動化できます。

このパラメータが有効になっている場合、ユーザが電話機の該当するソフトキーを押すと、Cisco Unified Communications Manager は、ユーザが所属するピックアップグループ、別のピックアップグループ、またはユーザが所属するグループに関連付けられたピックアップグループ内の着信コールにユーザを自動的に接続します。このアクションに必要なキーストロークは 1 回のみです。

自動コール ピックアップは、ユーザを本人が所属するグループの着信コールに接続します。ユーザが電話機の [ピック] ソフトキーを押すと、Cisco Unified Communications Manager はグループ内の着信コールを特定し、コール接続を行います。自動化が有効でない場合、ユーザはコール接続の際に [ピック] ソフトキーと [応答] ソフトキーを押す必要があります。

自動グループ コール ピックアップは、ユーザを別のピックアップ グループの着信コールに接続します。ユーザは電話機の [G ピック] ソフトキーを押し、別のピックアップ グループの DN をダイヤルします。DN を受信すると、Cisco Unified Communications Manager はコール接続を行います。自動グループ コール ピックアップが有効でない場合、ユーザは [G ピック] ソフトキーを押して別のピックアップ グループの DN にダイヤルし、コールに応答して接続を確立する必要があります。

自動他グループ コール ピックアップでは、ユーザを本人が所属するグループに関連付けられたグループの着信コールに接続します。ユーザは電話機の [他 Grp] ソフトキーを押します。Cisco Unified Communications Manager は、[コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウに管理者が入力した順序で、関連付けられたグループ内の着信コールを自動的に検索し、コールが見つかったらコール接続を行います。自動化が有効でない場合、ユーザはコール接続の際に [他 Grp] ソフトキーと [応答] ソフトキーを押す必要があります。



(注) CTI アプリケーションでは、コールに応答している通話者を監視できます。しかし、ピックアップの要求者または応答されたコールの着信先を監視することはできません。したがって、Cisco Unified Communications Manager Assistant では自動コール ピックアップ (ワンタッチ コール ピックアップ) は使用できません。

応答なし時のコール ピックアップ

サービス パラメータ Auto Call Pickup Enabled が [False] に設定されているときにコール ピックアップが発生した場合、その電話機で設定されたコール転送は、いずれかのピックアップ ソフトキーが押されると無視されます。コール ピックアップの要求者がコールに応答しない場合、ピックアップ 応答なしタイマーが時間切れになった後に元のコールが復元されます。

ビジー時のコール ピックアップ

サービス パラメータ Auto Call Pickup Enabled が [False] に設定されているときにコール ピックアップが発生した場合、コール ピックアップの要求者の電話機がビジーのときに、元のコールが復元されます。

帯域幅不足時のコール ピックアップ

サービス パラメータ Auto Call Pickup Enabled が [False] に設定されているときにコール ピックアップが発生した場合、コール発信者と要求者の電話機間の帯域幅が不足していると、元のコールが復元されます。

追加情報

P.11-20 の「[関連項目](#)」を参照してください。

パーティションによりアクセスを制限するコールピックアップ機能の使用

コールピックアップグループ番号にパーティションを割り当てると、コールピックアップグループへのアクセスを制限できます。この設定を使用すると、コールピックアップグループ番号のあるパーティションをコーリング検索スペースに含んでいる電話機だけが、そのコールピックアップグループに加入できます。パーティションとグループ番号の組み合わせは、システム全体で一意になるようにしてください。

- コールピックアップグループ番号がパーティションに割り当てられていると、そのパーティション内の番号をダイヤルできる電話機だけが、そのコールピックアップグループを使用できる。
- パーティションがマルチテナント構成のテナントに相当する場合は、各テナントに該当するパーティションに対してピックアップグループを割り当てる必要がある。

マルチテナント構成は、コールピックアップグループでパーティションを使用する例になります。ピックアップグループをテナントごとに適切なパーティションに割り当てると、グループ番号が他のテナントに表示されなくなります。

コールピックアップグループ通知

コールピックアップ通知機能は、ピックアップグループの他のメンバがコールを受信したときに、Cisco Unified IP Phone にオーディオまたはビジュアル、あるいはその両方の通知を提供します。コールピックアップ通知は、システム、コールピックアップグループ、および電話番号 / 電話機という 3 つの設定タイプの設定ウィンドウで設定します。

- [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)]: [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウでは、電話機がアイドル状態またはビジー状態になった場合に聞こえるオーディオ通知 (ビーブ音または呼び出し音) のタイプを設定します。この設定は、システムのデフォルトになります。
- [コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)]: Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウでは、各コールピックアップグループの通知タイプを設定します。通知のタイプの設定のほか、コールがそのグループに着信してからオーディオアラートおよびビジュアルアラートを送信するまでの遅延時間を秒単位で設定できます。これにより、そのピックアップグループにオーディオアラートおよびビジュアルアラート、またはそのいずれかが送信される前に、元の着信側がコールに応答することができます。P.14 の「[コールピックアップグループの設定項目](#)」を参照してください。
 - 通知のタイプをオーディオまたはビジュアル、あるいはその両方に設定するには、[コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウの [コールピックアップグループの通知設定 (Call Pickup Group Notification Settings)] の設定項目を使用します。通知は、デバイスのプライマリ回線だけに送信されます。
 - [コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウでビジュアル通知を設定するには、[コールピックアップグループ通知のコール情報表示 (Call Information Display For Call Pickup Group Notification)] セクションの設定項目を使用します。この設定により、管理者は、通知メッセージに発信者および着信側、またはいずれかの詳細情報を加えることができます。発信側 / 着信側の名前が設定されている場合には、それらの名前が表示されます。設定されていない場合は、番号が表示されます。ビジュアル通知は、電話機のステータス行にメッセージとして表示されます。
- [電話番号の設定 (Directory Number Configuration)]: このウィンドウは、各電話機のオーディオアラート設定項目を設定するためのフィールドを提供します。コールピックアップグループオーディオアラートの設定を使用して、電話機のオーディオアラートのタイプを設定できます。この設定により、ユーザは電話機がアイドル状態になったとき、またはアクティブなコールを受けているときに提供されるオーディオアラートのタイプを設定できます。『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「電話番号の設定値」を参照してください。

コール ピックアップ グループのシステム要件

コール ピックアップ グループが動作するには、次のソフトウェア コンポーネントが必要です。

- Cisco Unified Communications Manager Release 6.0 以降

次の SCCP 電話機と SIP 電話機は、Standard User と Standard Feature のソフトキー テンプレートの Pick Up (PickUp) ソフトキーと Group Pick Up (GPickUp) ソフトキーで、コール ピックアップ グループをサポートしています。

- Cisco Unified IP Phone (7941、7961、7970、7971)

次の SCCP 電話機は、Standard User と Standard Feature のソフトキー テンプレートの Pick Up (PickUp) ソフトキーと Group Pick Up (GPickUp) ソフトキーでコール ピックアップ グループをサポートしています。

- Cisco Unified IP Phone (7905、7912、7920、7931、7940、7960)



(注)

管理者は、ソフトキー テンプレートに Other Pickup (oPickup) ソフトキーを追加する必要があります。プログラミング可能な回線キー機能を使用して、コール ピックアップ、グループ コール ピックアップ、および他のピックアップを電話ボタン テンプレートに設定できます (『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「プログラム可能な回線キー」を参照)。

インタラクションおよび制限事項

次の項では、コール ピックアップにおけるインタラクションおよび制限事項について説明します。

- [インタラクション \(P.11-5\)](#)
- [制限事項 \(P.11-7\)](#)

インタラクション

次の各項では、コール ピックアップ グループが Cisco Unified Communications Manager アプリケーションおよびコール処理と通信する方法について説明します。

- [ルート プラン レポート \(P.11-5\)](#)
- [コーリング サーチ スペースとパーティション \(P.11-6\)](#)
- [Time of Day \(P.11-6\)](#)
- [コール アカウンティング \(P.11-6\)](#)
- [依存関係レコード \(P.11-6\)](#)

ルート プラン レポート

ルート プラン レポートには、Cisco Unified Communications Manager で設定されているパターンと電話番号が示されます。コール ピックアップ グループに電話番号を割り当てる前に、ルート プラン レポートを使用して、パターンと電話番号の重複を検索します。『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「ルート プラン レポート」の章を参照してください。

コーリング サーチ スペースとパーティション

デバイスのコーリング サーチ スペースに基づいてユーザによるコール ピックアップへのアクセスを制限するには、コール ピックアップ グループ番号をパーティションに割り当てます。『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「コーリング サーチ スペースの設定」および「パーティションの設定」を参照してください。

Time of Day

ユーザは、本人が所属するグループに関連付けられたグループのコールに応答するには、関連付けられたグループのメンバに関するコーリング サーチ スペース、パーティション、および Time of Day (TOD) パラメータを設定することにより、本人が所属するグループと同じ時間帯にアクティブになってコールを受け入れることができる必要があります。TOD は、タイム スタンプをコーリング サーチ スペースとパーティションに関連付けます。

たとえば、ABC というパーティションが午前 9 時～午後 5 時までアクティブになっているとします。コーリング サーチ スペース cssABC は、パーティション ABC を含んでいます。pickABC というピックアップ グループには、電話機 1 と電話機 2 が含まれています。電話機 1 と電話機 2 は、同じコーリング サーチ スペース cssABC に存在します。電話機 1 の呼び出し音が午後 5 時 30 分に鳴り、電話機 2 がコールへの応答を試行する場合、午後 5 時以降はパーティションがアクティブになっていないため、この試行は失敗します。電話機 1 の呼び出し音が午前 9 時 30 分に鳴ると、電話機 2 はそのコールに応答できます。

コール アカウンティング

コール ピックアップ グループは、コール アカウンティングと通信します。

- 自動コール ピックアップによってコール ピックアップが発生すると、システムは 2 つの Call Detail Record (CDR; 呼詳細レコード) を生成します。一方の CDR はクリアされた元のコールに適用され、もう一方の CDR は接続された要求コールに適用されます。
- 自動でないコール ピックアップによってコール ピックアップが発生すると、システムは 1 つの呼詳細レコードを生成し、接続された要求コールにそれが適用されます。
- CDR 検索では、指定された特定の期間およびその他の検索条件に一致する CDR がすべて返されます。特定の CDR に関連付けられたコールのタイプがわかるよう、検索結果のコール タイプフィールドには、コールがピックアップ コールかどうかが表示されます。

依存関係レコード

特定のコール ピックアップ番号が割り当てられているデバイスを検索する必要がある場合は、Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウにある [依存関係レコード] リンクをクリックします。[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウには、そのコール ピックアップ番号を使用しているデバイスに関する情報が表示されます。

ピックアップ グループが他のピックアップ グループに関連付けられている場合、そのピックアップ グループの依存関係レコードには、関連付け情報が表示されます。たとえば、ピックアップ グループ A がピックアップ グループ B およびピックアップ グループ C に関連付けられている場合、ピックアップ グループ A の依存関係レコードには、ピックアップ グループ B およびピックアップ グループ C に対するピックアップ グループ A の関連付けに関する情報が表示されます。

デバイスに関する詳細な情報を調べるには、デバイスをクリックします。[依存関係レコード詳細 (Dependency Records Detail)] ウィンドウが表示されます。依存関係レコードがシステムで使用できない場合は、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。

依存関係レコードの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「依存関係レコードへのアクセス」を参照してください。

制限事項

コール ピックアップ グループには、次の制限事項があります。

- ある特定の電話機に割り当てである異なる回線を異なるコール ピックアップ グループに割り当てることは可能ですが、ユーザの混乱を招く原因になるため、この設定はお勧めしません。
- 回線または電話番号に割り当てられているコール ピックアップ グループ番号を削除することはできません。コール ピックアップ 番号を使用している回線を調べるには、依存関係レコードを使用します。コール ピックアップ 番号を削除するには、各回線または各電話番号に新しいコール ピックアップ グループ番号を割り当て直す必要があります。
- コール ピックアップ グループ番号を更新すると、そのコール ピックアップ グループに割り当てられているすべての電話番号が Cisco Unified Communications Manager により自動的に更新されます。
- Cisco Unified Communications Manager Attendant Console は、コール ピックアップ グループ機能に対応していません。Attendant Console ユーザ インターフェイスでは、JTAPI と CTI の制限により、コール ピックアップ グループに属する電話機から発信されるコールまたはその電話機に着信するコールを正しく処理できません。
- コール ピックアップ 通知、オーディオアラート、およびビジュアルアラートは、SIP を利用した Cisco Unified IP Phone 7911、7941、7961、7970、および 7971 をサポートしています。
- SIP を利用した Cisco Unified IP Phone 7905、7912、7940、および 7960 では、コール ピックアップ 通知、オーディオアラート、およびビジュアルアラートはサポートされません。
- コール ピックアップ 通知、オーディオアラート、およびビジュアルアラートがサポートしているのは、ライセンスが発行されているサードパーティの SIP 電話機だけです。

コールピックアップグループのインストールとアクティブ化

システム機能のコールピックアップグループは、Cisco Unified Communications Manager ソフトウェアに標準で備わっています。この機能は、特にインストールする必要はありません。

コールピックアップグループの設定

この項の内容は次のとおりです。

- [コールピックアップグループの設定チェックリスト \(P.11-8\)](#)
- [他グループコールピックアップの設定チェックリスト \(P.11-10\)](#)
- [コールピックアップグループのサービスパラメータの設定 \(P.11-11\)](#)
- [コールピックアップグループの検索 \(P.11-12\)](#)
- [コールピックアップグループの設定 \(P.11-13\)](#)
- [コールピックアップグループの設定項目 \(P.11-14\)](#)
- [コールピックアップグループの削除 \(P.11-17\)](#)
- [他グループコールピックアップのピックアップグループの定義 \(P.11-18\)](#)
- [電話番号へのコールピックアップグループの割り当て \(P.11-18\)](#)


コールピックアップグループの設定チェックリスト

表 11-1 に、コールピックアップグループを設定する際のチェックリストを示します。

表 11-1 コールピックアップグループの設定チェックリスト

設定手順	関連手順と関連項目
ステップ 1 コールピックアップグループでパーティションを使用する場合は、パーティションを設定します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「パーティションの設定」 パーティションによりアクセスを制限するコールピックアップ機能の使用 (P.11-4)
ステップ 2 コールピックアップグループを設定します。名前と番号は一意にしてください。	コールピックアップグループの設定 (P.11-13)
ステップ 3 ステップ 2 で作成したコールピックアップグループを、コールピックアップを有効にする電話機に関連付けられた電話番号に割り当てます。 <ul style="list-style-type: none"> • コールピックアップグループに割り当てられた電話番号だけが、コールピックアップ機能を使用できます。 • コールピックアップ番号でパーティションを使用する場合は、コールピックアップグループに割り当てられた電話番号が、適切なパーティションを含むコーリングサーチスペースを持つようにしてください。 	電話番号へのコールピックアップグループの割り当て (P.11-18)

表 11-1 コール ピックアップ グループの設定チェックリスト (続き)

設定手順	関連手順と関連項目
ステップ 4 通知をオーディオまたはビジュアル、あるいはその両方に設定します (オプション)。 <ul style="list-style-type: none"> • Call Pickup Group Audio Alert Setting サービス パラメータを設定します。 • [コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)] で通知タイプ (オーディオ、ビジュアル、両方) を設定します。 • [コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)] で通知タイマーを設定します。 • [電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] で各電話機のオーディオ アラート設定項目を設定します。 	コール ピックアップ グループ通知 (P.11-4) コール ピックアップ グループの設定項目 (P.11-14) 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「電話番号の設定値」
ステップ 5 必要に応じて、電話ボタン テンプレートにコール ピックアップ ボタンまたはグループ コール ピックアップ ボタンを追加します。 この操作が必要になるのは、Cisco IP Phone 12 SP、12 SP+、および 30 VIP だけです。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「電話ボタン テンプレートの設定」
ステップ 6 Pick Up (PickUp) ソフトキーと Group Pick Up (GPickUp) を使用する電話機に、Standard User または Standard Feature ソフトキー テンプレートを割り当てます。  (注) コールを受ける電話機をユーザが所属するグループ内の電話機に限定するには、ソフトキー テンプレートの [G ピック] ソフトキーまたは [他 Grp] ソフトキーを [ソフトキーテンプレートの設定 (Softkey Template Configuration)] ウィンドウの [選択されていないソフトキー (Unselected Softkeys)] ボックスに移動して無効にします。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「IP Phone へのソフトキー テンプレートの割り当て」
ステップ 7 コール ピックアップ グループに対して自動コール応答が必要な場合は、Auto Call Pickup Enabled サービス パラメータの値に [True] を選択して有効にします。デフォルトは [False] です。	自動コール ピックアップ (P.11-2) 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「サービス パラメータの設定」
ステップ 8 Auto Call Pickup Enabled サービス パラメータが [False] の場合は、Call Pickup No Answer Timer サービス パラメータの値を入力します。コール ピックアップ、グループ コール ピックアップ、または他グループ コール ピックアップを使用してコールを受けた場合、このパラメータはコールの復元に要する時間を制御します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「サービス パラメータの設定」
ステップ 9 Pickup Locating Timer サービス パラメータの値を入力します。このパラメータは、コール ピックアップ、グループ コール ピックアップ、および他グループ コール ピックアップでのコール選択の時間を制御します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「サービス パラメータの設定」
ステップ 10 コール ピックアップ機能が使用可能であることをユーザに通知します。	ユーザが Cisco Unified IP Phone でコール ピックアップ機能にアクセスする方法については、電話機のマニュアルを参照してください。

■ コール ピックアップ グループ の設定

追加情報

P.11-20 の「関連項目」を参照してください。


他グループ コール ピックアップ の設定 チェック リスト

表 11-2 に、他グループ コール ピックアップ を設定 する 際 の チェック リスト を 示 します。

表 11-2 他グループ コール ピックアップ の設定 チェック リスト

設定手順	関連手順と関連項目
ステップ 1 すべてのピックアップ グループ から 選択 可能 な、関連 付 け ら れ た グループ の リスト を 設定 します。リスト には 最大 10 の グループ を 含 め る こ と が 可 能 です。	他グループ コール ピックアップ の ピックアップ グループ の 定義 (P.11-18)
ステップ 2 ユーザ の グループ に 関連 付 け ら れ た グループ の メンバ に 関 する Calling Search Space パラメータ と TOD パラメータ を 設定 します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「コーリングサーチ スペース の 設定」 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Time-of-Day ルーティング」 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「タイム スケジュール の 設定」 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「時間帯 の 設定」
ステップ 3 他グループ コール ピックアップ に対して 自動 コール 応 答 が 必要 な 場 合 は、Auto Call Pickup Enabled サービス パラメータ の 値 に [True] を 入 力 し て 有 効 に します。デフォルト は [False] です。	自動コール ピックアップ (P.11-2) 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「サービス パラメータ の 設定」
ステップ 4 Auto Call Pickup Enabled サービス パラメータ が [False] の 場 合 は、Call Pickup No Answer Timer サービス パラメータ の 値 を 入 力 します。コール が 他 グループ コール ピックアップ によって ピックアップ さ れ た 場 合、このパラメータ は コール の 復 元 に 要 する 時 間 を 制 御 します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「サービス パラメータ の 設定」
ステップ 5 Pickup Locating Timer サービス パラメータ の 値 を 入 力 します。このパラメータ は、コール ピックアップ、グループ コール ピックアップ、および 他 グループ コール ピックアップ での コール 選 択 の 時 間 を 制 御 します。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「サービス パラメータ の 設定」

表 11-2 他グループ コール ピックアップ の設定 チェックリスト (続き)

設定手順	関連手順と関連項目
<p>ステップ 6 電話機に Other Pickup (oPickup) ソフトキーを設定するには、Standard User または Standard Feature ソフトキー テンプレートを変更して、その電話機に追加します。</p> <p>Other Pickup (oPickup) ソフトキーを含めるには、次の手順でテンプレートを変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[デバイス] > [デバイスの設定] > [ソフトキーテンプレート] を選択します。 • 対象となるソフトキー テンプレートを選択します。 • [ソフトキーレイアウトの設定] リンクを選択します。 • オンフックまたはオフフックのコール状態を選択します。 • [選択されていないソフトキー (Unselected Softkeys)] ボックスで [Other Pickup (oPickup)] を選択します。右矢印をクリックし、[Other Pickup (oPickup)] ソフトキーを [選択されたソフトキー (Selected Softkeys、位置順)] ボックスに移動します。 <p> (注) コールを受ける電話機をユーザが所属するグループ内の電話機に限定するには、ソフトキー テンプレートで [Other Pickup (oPickup)] ソフトキーを無効にします。</p>	<p>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「IP Phone へのソフトキー テンプレートの割り当て」</p>
<p>ステップ 7 コール ピックアップ グループ機能が使用可能であることをユーザに通知します。</p>	<p>ユーザが Cisco Unified IP Phone でコール ピックアップ機能にアクセスする方法については、電話機のマニュアルを参照してください。</p>

追加情報

P.11-20 の「関連項目」を参照してください。

コール ピックアップ グループのサービス パラメータの設定

Cisco Unified Communications Manager には、コール ピックアップ グループ用に、Auto Call Pickup Enabled、Call Pickup Locating Timer、および Call Pickup No Answer Timer という 3 つのクラスタ全体のサービス パラメータがあります。各サービス パラメータではデフォルトが設定されているので、特別な設定は必要ありません。

- Auto Call Pickup Enabled : デフォルトは [False] です。このパラメータは、自動コール ピックアップ機能が有効かどうかを決定します。有効にするには、このフィールドを [True] に設定します。
- Call Pickup Locating Timer : デフォルトは 1 秒です。このサービス パラメータは、クラスタ内のすべてのノードからピックアップ グループのすべてのアラート コールを取得するために、ピックアップが待機する最大時間を秒単位で指定します。
- Call Pickup No Answer Timer : デフォルトは 12 秒です。このパラメータは、ピックアップ要求を開始したユーザがコールを受けないことにした場合に、元のコールを復元するまでに待機する最大時間を秒単位で指定します。これは必須フィールドです。



(注) タイマーを設定するには、[システム] > [サービスパラメータ] を選択し、[詳細設定] アイコンを選択するか、[詳細設定] ボタンをクリックして、[Clusterwide Parameters (Feature - Call Pickup)] ペインのフィールドを更新します。

追加情報

P.11-20 の「関連項目」を参照してください。

コールピックアップグループの検索

ネットワーク上には複数のピックアップグループが存在する可能性があるため、Cisco Unified Communications Manager では、特定の条件に基づいて、コールピックアップグループを検索できます。コールピックアップグループを検索するには、次の手順を実行します。



(注) ブラウザセッションでの作業中は、Cisco Unified Communications Manager の管理ページでコールピックアップグループの検索プリファレンスが保持されます。他のメニュー項目に移動してこのメニュー項目に戻った場合でも、検索を変更するかブラウザを閉じない限り、コールピックアップグループの検索プリファレンスは Cisco Unified Communications Manager の管理ページで保持されています。

手順

ステップ 1 [コールルーティング] > [コールピックアップグループ] を選択します。

[コールピックアップグループの検索と一覧表示 (Find and List Call Pickup Groups)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空になっていることを確認し、[ステップ 3](#)に進みます。

特定のレコードをフィルタリングまたは検索するには、次の操作を実行します。

- 最初のドロップダウンリストボックスで、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウンリストボックスで、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索文字を入力します。



(注) 別の検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加した場合は、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして、最後に追加された条件を削除するか、または [フィルタのクリア] ボタンをクリックして、追加されたすべての検索条件を削除します。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

すべてのレコードまたは条件に一致するレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウンリストボックスで別の値を選択すると、各ページに表示される項目数を変更できます。



(注) 適切なレコードの横にあるチェックボックスをオンにして、[**選択項目の削除**] をクリックすると、データベースから複数のレコードを削除できます。[**すべてを選択**] をクリックして [**選択項目の削除**] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 表示されたレコード リストから、目的のレコードのリンクをクリックします。



(注) ソート順を逆にするには、リストのヘッダーにある上矢印または下矢印をクリックします (使用可能な場合)。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

P.11-20 の「[関連項目](#)」を参照してください。

コール ピックアップ グループの設定

ここでは、1 つのコール ピックアップ グループを追加、コピー、および更新する方法について説明します。

手順

ステップ 1 [コールルーティング] > [コールピックアップグループ] を選択します。

ステップ 2 次のいずれかの手順を実行します。

- 新しいコール ピックアップ グループを追加するには、[**新規追加**] をクリックします。
- コール ピックアップ グループをコピーするには、P.11-12 の「[コール ピックアップ グループの検索](#)」の手順を使用して、コール ピックアップ グループを検索します。[コピー] アイコンをクリックします。
- コール ピックアップ グループを更新するには、P.11-12 の「[コール ピックアップ グループの検索](#)」の手順を使用して、コール ピックアップ グループを検索します。

[コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 適切な設定項目を入力するか更新します (表 11-3 を参照)。

ステップ 4 新規コール ピックアップ グループまたは変更されたコール ピックアップ グループをデータベースに保存するには、[**保存**] をクリックします。

追加情報

P.11-20 の「[関連項目](#)」を参照してください。

コール ピックアップ グループの設定項目

表 11-3 に、コール ピックアップ グループの設定項目を示します。関連する手順については、P.11-20 の「関連項目」を参照してください。

表 11-3 コール ピックアップ グループの設定項目



フィールド	説明
[コールピックアップグループ情報 (Call Pickup Group Information)]	
[コールピックアップグループ名 (Call Pickup Group Name)]	最大で 30 文字の英数字を入力できます。たとえば、「Operations」のように指定します。ピックアップグループ名は、ピックアップグループ番号と関連付けられます。ピックアップグループはピックアップグループ名で選択できます。
[コールピックアップグループ番号 (Call Pickup Group Number)]	追加するコール ピックアップ グループ用の一意の電話番号 (整数) を入力します。
[説明 (Description)]	コール ピックアップ グループの説明を入力します (たとえば、Operations Department Group Pickup)。
[パーティション (Partition)]	<p>パーティションを使用してコール ピックアップ グループへのアクセスを制限する場合は、ドロップダウン リスト ボックスから希望のパーティションを選択します。コール ピックアップ グループへのアクセスを制限しない場合は、パーティションに [<なし>] を選択します。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用すると、このドロップダウン リスト ボックスに表示されるパーティションの数を設定できます。Max List Box Items エンタープライズパラメータの指定よりも多くのパーティションが存在する場合は、このドロップダウン リスト ボックスの横に [検索] ボタンが表示されます。[検索] ボタンをクリックすると、[パーティションの検索と一覧表示 (Find and List Partitions)] ウィンドウが表示されます。『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「パーティションの検索」の手順に従って、パーティション名を検索および選択します。</p> <p> (注) リスト ボックス項目の最大数を設定するには、[システム] > [エンタープライズパラメータ] を選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。</p> <p> (注) コール ピックアップ グループ番号とパーティションの組み合わせが、Cisco Unified Communications Manager クラスタ内で固有であることを確認してください。</p>

表 11-3 コール ピックアップ グループ の 設定 項目 (続 き)


フィールド	説明
[コールピックアップグループの通知設定 (Call Pickup Group Notification Settings)]	
[コールピックアップグループ通知ポリシー (Call Pickup Group Notification Policy)]	ドロップダウンリスト ボックスから、次のいずれかの通知タイプを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [アラートなし] • [オーディオアラート] • [ビジュアルアラート] • [オーディオおよびビジュアルアラート]
[コールピックアップグループ通知タイマー (Call Pickup Group Notification Timer、秒)]	元の着信側にコールが最初に着信してから、それ以外のコールピックアップグループに通知を送信するまでの遅延時間を秒単位 (1 ~ 300 の範囲の整数) で入力します。
[コールピックアップグループ通知のコール情報表示 (Call Information Display For Call Pickup Group Notification)]	
[発呼側情報 (Calling Party Information)]	<p>コール ピックアップ グループへのビジュアル通知メッセージに発信側の ID を加えるには、このチェックボックスをオンにします。[コールピックアップグループ通知ポリシー (Call Pickup Group Notification Policy)] が [ビジュアルアラート] または [オーディオおよびビジュアルアラート] に設定されている場合にだけ、この設定を使用できます。</p> <p>[発呼側情報 (Calling Party Information)] と [着信側情報 (Called Party Information)] の両方を表示する場合、最初の 11 文字だけが各ディスプレイに表示されます。どちらか一方だけを表示する場合は、最初の 23 文字が表示されます。ただし、表示名に関連番号がない機能タグ ([Conference] -> [Alice] など) が含まれる場合は、このような文字数の制限はありません。</p> <p> (注) アクティブな通知アラートが複数ある場合、最新のビジュアルアラートによってその前のアラートが無効になります。ユーザがコールピックアップをアクティブにすると、電話機に現在表示されているビジュアルアラートでなくても、ピックアップ可能な最も古いコールにユーザが接続されます。発信側または着信側の情報を表示しないビジュアル通知を使用することで、この矛盾を回避することができます。この設定を使用する場合、「コールがピックアップ可能」という汎用メッセージが表示されます。自動コールピックアップ (AutoCallPickupEnabled サービス パラメータ) が無効の場合は発信者の ID を取得できます。P.11-2 の「自動コールピックアップ」を参照してください。</p>

表 11-3 コール ピックアップ グループの設定項目 (続き)


フィールド	説明
[着信側情報 (Called Party Information)]	<p>コール ピックアップ グループへのビジュアル通知メッセージに元の着信側の ID を加えるには、このチェックボックスをオンにします。[コールピックアップグループ通知ポリシー (Call Pickup Group Notification Policy)] が [ビジュアルアラート] または [オーディオおよびビジュアルアラート] に設定されている場合にだけ、この設定を使用できます。</p> <p>[発呼側情報 (Calling Party Information)] と [着信側情報 (Called Party Information)] の両方を表示する場合、最初の 11 文字だけが各ディスプレイに表示されます。どちらか一方だけを表示する場合は、最初の 23 文字が表示されます。ただし、表示名に関連番号がない機能タグ ([Conference] -> [Alice] など) が含まれる場合は、このような文字数の制限はありません。</p> <p> (注) アクティブな通知アラートが複数ある場合、最新のビジュアルアラートによってその前のアラートが無効になります。ただし、ユーザがコール ピックアップをアクティブにすると、電話機に現在表示されているビジュアルアラートでなくても、ピックアップ可能な最も古いコールにユーザが接続されます。発信側または着信側の情報を表示しないビジュアル通知を使用することで、この矛盾を回避することができます。この設定を使用する場合、「コールがピックアップ可能」という汎用メッセージが表示されます。自動コール ピックアップ (AutoCallPickupEnabled サービス パラメータ) が無効の場合は発信者の ID を取得できます。P.11-2 の「自動コールピックアップ」 を参照してください。</p>
[関連付け先コールピックアップグループ情報 (Associated Call Pickup Group Information)] : [番号 / パーティションでピックアップ番号を検索 (Find Pickup Numbers by Numbers/Partition)]	
[パーティション (Partition)]	この表の [コールピックアップグループ情報 (Call Pickup Group Information)] の [パーティション (Partition)] を参照してください。
[コールピックアップグループ番号に含まれる (Call Pickup Group Numbers Contain)]	検索するコールピックアップグループの DN またはその一部を入力し、 [検索] をクリックします。
[使用可能コールピックアップグループ (Available Call Pickup Groups)]	<p>[現在の関連付け先コールピックアップグループ (Current Associated Call Pickup Groups)] 領域にある関連付け先コールピックアップグループリストにメンバを追加するには、このリストから DN/ パーティションを選択し、[関連付け先コールピックアップグループに追加] をクリックします。</p> <p>設定されたグループが自動的に [現在の関連付け先コールピックアップグループ (Current Associated Call Pickup Groups)] のリストに追加されます。これにより、[他 Grp] ソフトキーを使用して、ユーザがいるグループ内のコールを受けることができますようになります。</p>

表 11-3 コール ピックアップ グループの設定項目 (続き)

フィールド	説明
[現在の関連付け先コールピックアップグループ (Current Associated Call Pickup Groups)]	
[選択されたコールピックアップグループ (Selected Call Pickup Groups)]	コール ピックアップ グループ リスト項目の順序を変更するには、このボックスの右側の上矢印と下矢印を使用して、リスト項目を移動します。リスト項目の順序を逆にするには、 [選択された番号の順番を逆にする] をクリックします。このボックスから [削除されたコールピックアップグループ (Removed Call Pickup Groups)] ボックスにコール ピックアップ グループを移動するには、このボックスの下にある上矢印と下矢印を使用します。
[削除されたコールピックアップグループ (Removed Call Pickup Groups)]	このボックスから [選択されたコールピックアップグループ (Selected Call Pickup Groups)] ボックスにコール ピックアップ グループを移動するには、このボックスの上にある上矢印と下矢印を使用します。

コール ピックアップ グループの削除

この項では、Cisco Unified Communications Manager データベースからコール ピックアップ グループを削除する方法について説明します。

始める前に

回線または電話番号に割り当てられているコール ピックアップ グループ番号を削除することはできません。このコール ピックアップ グループを使用している電話番号のリストを表示するには、**[依存関係レコード]** リンクをクリックします。依存関係レコードがシステムで使用できない場合は、**[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)]** ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「依存関係レコードへのアクセス」を参照してください。これらの電話番号のコール ピックアップを再び有効にするには、各電話番号を新しいコール ピックアップ グループに割り当て直す必要があります。詳細については、[P.11-18](#) の「電話番号へのコール ピックアップ グループの割り当て」を参照してください。

手順

- ステップ 1** [P.11-12](#) の「**コール ピックアップ グループの検索**」の手順を使用して、コール ピックアップ グループを検索します。
- ステップ 2** 削除するコール ピックアップ グループをクリックします。
- ステップ 3** **[削除]** をクリックします。

そのコール ピックアップ グループが [コールピックアップグループの検索と一覧表示 (Find and List Call Pickup Groups)] ウィンドウに表示されなくなります。

追加情報

[P.11-20](#) の「**関連項目**」を参照してください。

他グループ コールピックアップのピックアップグループの定義

この項では、関連付けられたグループに対する着信コールに応答するために、ユーザのグループにコールピックアップグループを関連付ける方法について説明します。グループには、最大 10 のコールピックアップグループを関連付けることができます。関連付けられたグループのコールに応答する優先順位は、関連付けられたグループリストで最初に関連付けられたグループから最後に関連付けられたグループの順になります。表 11-1 の説明のように、[コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウのリストを編成できます。

手順

-
- ステップ 1** P.11-12 の「[コールピックアップグループの検索](#)」の手順を使用して、グループを検索します。
 - ステップ 2** [コールピックアップグループの設定 (Call Pickup Group Configuration)] ウィンドウで、[関連付け先コールピックアップグループ情報 (Associated Call Pickup Group Information)] 領域までスクロールします。
 - ステップ 3** 表 11-3 の説明に従って、フィールドに情報を入力します。
 - ステップ 4** [保存] をクリックします。
-

追加情報

P.11-20 の「[関連項目](#)」を参照してください。

電話番号へのコールピックアップグループの割り当て

この項では、電話番号にコールピックアップグループを割り当てる方法について説明します。コールピックアップグループに割り当てられた電話番号だけが、コールピックアップ、グループコールピックアップ、および他グループコールピックアップを使用できます。

始める前に

電話番号にコールピックアップグループを割り当てる前に、P.11-13 の「[コールピックアップグループの設定](#)」の説明に従ってコールピックアップグループを作成する必要があります。

手順

-
- ステップ 1** [デバイス] > [電話] または [コールルーティング] > [電話番号] を選択します。
 - ステップ 2** コールピックアップグループに割り当てる電話機または電話番号を検索するための検索条件を入力し、[検索] をクリックします。

検索条件に一致した電話機または電話番号のリストが表示されます。
 - ステップ 3** コールピックアップグループに割り当てる電話機または電話番号を選択します。
 - ステップ 4** [電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウを使用している場合は、[ステップ 6](#) に進んでください。

- ステップ 5** [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウの [割り当て情報 (Association Information)] リストから、コール ピックアップ グループを割り当てる電話番号を選択します。
- ステップ 6** [コール転送とコールピックアップの設定 (Call Forward and Call Pickup Settings)] 領域に表示される [コールピックアップグループ (Call Pickup Group)] ドロップダウン リスト ボックスから、割り当て先のコール ピックアップ グループを選択します。
- ステップ 7** 変更をデータベースに保存するには、[保存] をクリックします。
-

追加情報

P.11-20 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [コールピックアップグループ \(P.11-1\)](#)
- [コールピックアップグループの検索 \(P.11-12\)](#)
- [コールピックアップグループの設定 \(P.11-13\)](#)
- [コールピックアップグループの設定項目 \(P.11-14\)](#)
- [コールピックアップグループの削除 \(P.11-17\)](#)
- [他グループコールピックアップのピックアップグループの定義 \(P.11-18\)](#)
- [電話番号へのコールピックアップグループの割り当て \(P.11-18\)](#)
- 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「電話番号の設定」
- 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」
- 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「パーティションの設定」
- 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「ルートプランレポート」
- 『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Time-of-Day ルーティング」
- 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「ソフトキーテンプレートの設定」
- [Cisco Unified IP Phone アドミニストレーションガイド for Cisco Unified Communications Manager](#)
- [Cisco Unified IP Phone のユーザ資料とリリース ノート \(すべてのモデル\)](#)